

常なる磐

つねなる いわ

令和3年2月5日(金)

◇ 秘密兵器

右の写真の器具を購入した。
「根こそぎ君」と名付けた秘密兵器は、
学校の【救世主】になるかもしれない。

秘密兵器について簡単に説明しよう。
器具だけでは、ただの重い代物だが、
これをロープで軽トラックにつなぎ、
さらに器具に「重し」を載せて走らせる。

器具の手前側は金属製の爪（赤○）が
付いており、後方はブラシ（黄色●）が
ある。

つまり、器具を装着した軽トラックでグラウンドを走行させることで、爪が地表の凸の部分を削り、ブラシで均（なら）す「地均し器」というわけである。

しかし、本校の使用法（使用目的）は、他校と少々異なる。
グラウンド全体を張り巡らした「芝系雑草の対応」である。

ひと昔、ふた昔前のこと。学校のグラウンドの端の方に芝や芝系の草を定植することが流行った時期がある。見た目のよさに加え、子供の安全面を視野に入れた対応である。本校もそうした流れの中で対応したであろうことが推察される。

けれども、本校は少し環境が違い、当初の計算を狂わせる。

環境がよいだけに成長は早い。当初はグラウンドの端の方だけであったはずだが、グラウンド中央に向かってどんどん伸びる。芝は地下茎でつながっているため、地表の見かけでは分からないが、ものすごい勢いで伸び、まさに網目状につながっている。

夏季になると、本校のグラウンドが緑色になるのは、この芝系雑草である。

毎年、年に何度も寿会や保護者の方に草取りを行っていただき、一旦はきれいになるのだが、先に述べたように地下茎でつながり、生命力の強い雑草はびくともしない。瞬く間に芽を伸ばす。

さらに他の雑草も繁殖して対応しようとするが、この芝系雑草が草取りを邪魔する。本当に厄介な存在なのである。



そこで、本年度対応したのが「除草剤」。これは、他の雑草には効果きめんだが、芝系雑草はこれまたしぶとい。冬季になっても、葉の色は変えるものの、地下茎を手繰るとしゃんとしている。来春の生長に向けて、着々と準備しているようだ。

そう、地均し器を【草取り秘密兵器】として利用するのである。

1日に2～3時間。4日間作業をした結果が下の左写真である。



右の写真は、ベンチを境に左側がトラックを走らせられなかった部分、右側が作業をした部分で、その違いを分かっていただけではないだろうか。

確かによくなったように見える。見違えるほどと言っても憚（はばかり）らないが、何十年もかけて成長した植物の生命力を舐めてはいけない。

名前のように「根こそぎ」とはいかない。別名「表面ちよろちよろ君」である。

けれども、作業による「別の効果」を期待している。

本校が他校のようにグラウンド中央まで地下茎を伸ばすのには理由がある。

どれだけ子供たちが走り回っても、地を踏みつける回数が違う。つまり、雑草に与える負荷の違いである。

対応法は、人の代わりにトラックが走る。走り続けるのである。

本校のグラウンドは舐めてはいけないことを知っている。何もしなければ、またグラウンドが緑色に変わるのには目に見える。

だから、とても毎日とはいかないが、週に一度は対応すると決めた。

冬の成果は春に現れる。雑草に負けない粘りで頑張るしかない。